

世の中のこと

小川未明

青空文庫

たいそう げかてきしゅじゅつ 外科的手術を おそ 怖ろしがっている、若い わか 婦人 ふじん がありました。

もし、すこしぐらいの いた 痛さを我慢 がまん をして、手術 しゅじゅつ を受けるなら、十分 ぶんけんこう 健康 と を取り返 かえ すことができるのを、どうしても、その婦人 ふじん は、手術 しゅじゅつ を受けることを欲 ほつ しなかつたのです。

季候 きこう の変わりめになると、婦人 ふじん は、青い あお 顔色 かおいろ をしていました。「あなたほどの若 わか さで、そんな青い あお 顔色 かおいろ をなさっていてはいけません。早く はや 手術 しゅじゅつ をお受 う けになつて、さつぱり病 びょうき 氣 な を治 なお しておしまいなさいまし。」と、知 し っている人 ひと は、いいました。

「なんとおつしやつても、私 わたくし は、手術 しゅじゅつ を受けるのが怖 おそ ろしい

のでございます。」と、婦人は、光るメスを、はさみを考えると、身ぶるいをしました。

「奥さん、T町に有名な先生があります。この方の手術なら、まったく安心して受けられます。けっして二度とや

り直しをするようなことはありませんから、ぜひここへいつて見とおもらいになったらいかがですか。」と、心から、婦人のことを思つて、いつてくれたのでした。さすがに、気の弱い婦人であったが、いくら心動かはじめました。

「T町のなんとという医者さまでございますか？」と、教えてくれた人に、ききました。

「M病院といえば、その界限で知らぬものがないほど、有

うめい
名なものです。」と、その人は、ひと答こたえました。

「まあ、そんなにいいお医者さまが、あつたのでございますか？」

婦人ふじんは、なぜ早くそれを知らなかつたろう。そうすれば、こん

なに長い間ながあいだ、この病に苦しまなくつてもよかつたのにと、急きゆうに、

見みもしない、その医者いしやを心こころの中で尊敬そんけいしました。その後ご、彼かのじ

女よは、いろいろの人ひとに、Tティー町まちにあるMエム病院びやういんの話はなしをして、

はたして、それはほんとうのことかと、たしかめようとなりました。

まれにはまったくその名なを知らぬものもあつたけれど、また中なかに

は、よくその病びやういん院いんの名なを知しつていて、「その病氣びやうきにかけて

は、二人ふたりとない名めいじん人じんだという話はなしです。」と、いうものもあつた

ので、彼女かのじよは、いよいよ進すすんで、その病びやういん院いんへゆく氣きになつ

たのであります。

彼女が、手術を受けることを覚悟したと知ったときに、
彼女の身を案じた周囲の人たちは、それは、よく決心した
といつて、喜んでのでした。

そこから、T町までは、遠かったのであります。乗り物に

よつても、一日は費やされたのです。氣じようぶな叔母さんをつ
きそいに頼んで、彼女はT町にゆき、そして、病院の
門をくぐつたのでした。

患者の控え室は、たくさんの人で、いっぱいでした。左右に
すわっている人々のようすをきくと、いずれも彼女と同じ病
気であるらしいので、いまさら、その名医ということが感ぜら

れたのでありました。

そのうちに、看護婦かんごふが入はいつて、彼女かのじよのかたわらにきました。

「あなたですか、院いんちよう長ちやうさんに見みてもらいたいと、おつしやられたのは？」と、看護婦かんごふはたずねました。

「さようでございます。」と、彼女かのじよは、答こたえました。

「お氣きどくの毒どくですが、院いんちよう長ちやうさんは、ただいま、ご旅行りょこうちゆう中ちゆうなんですが……。」

こう看護婦かんごふがいったとき、若い婦人わかふじんの顔色かおいろは、落胆らくたんと失しつぽ望うのために、変かわりました。彼女かのじよは、どうしていいかわからなかつたからです。しばらく黙だまつて考かんがえていました。

「代診だいしんでは、いけませんか。」と、看護婦かんごふが、問といました。

彼女かのじよは、あれほど、迷まよった末すえに、ようやく決けつ心しんをしてきたのを、いまさら代診だいしんにみてもらうまでもないと、いくぶん腹立はらだたしくなりました。

「叔母おばさん、私わたし、また、くることにしますわ。」といって、彼女かのじは、立たち上あがりました。

「せっかく、きましたのに……。」「と、叔母おばさんも彼女かのじよの後方うしろに從したがうよりしかたがなかったのです。

彼女かのじよは、門もんを出でるときに、どうして、みんながあのようにな、代診だいしんで満足まんぞくしているのだろうか？ 院いんちよう長ちやうさんには、めつた

にみてもらえないからかしらんとさえ思おもいました。そして、彼女かのじはむなしく、家いえにもどってしまったのです。その後ごふたたび、

彼女が、出かけるはずもなかったから、病氣はついに治らずにしまいました。

ところが、その後になつてきくと、M病院では、院長よりも代診のほうが、はるかに手術が上手なので、院長には、時に仕損じはあるが、代診に限ってけつして仕損じがないということでした。

「世の中のこつて、みんなこうしたものね。」と、さすがに、これをきいたとき、婦人は、歎息をつきました。いつか代診より、院長が偉いと思つた、自分の愚かしさを悟つたのでした。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第6刷発行

※表題は底本では、「世《よ》の中《なか》のこと」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：仙酔ゑびす

2012年7月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

世の中のこと

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>